

contents



第2回
研究企画会議・
第2回
研究推進会議を
開催



研究企画会議



高等研報告書・
選書の刊行
・「グローバル化と
市民社会」
・「能と京劇」



仁科 一彦氏



高等研カンファレンス・
高等研レクチャー
Webサイトを開設



専用 Web サイト



英語版 Web サイトと
プロフィールを
リリース



英語版 Web サイト



初秋の高等研



研究企画会議・研究推進会議

報告

第2回研究企画会議・ 第2回研究推進会議を開催（10月5日）

研 究企画会議と研究推進会議が合同開催の形をとり、所長・副所長ならびに研究企画会議委員4名、研究推進会議委員6名の方々が出席して10月5日に開催されました。

今回の合同会議では、高等研が実施するものとしてふさわしい来年度以降の研究プロジェクトの立案と選定を主要議題として、これまでに提案された研究テーマ案などを基に議論が交わされました。また、あわせて日本の学術の在り方についても積極的な議論が交わされました。

今回議論された内容は、今後、さらに検討を重ねると共に、来年度の研究事業計画の策定などに反映させることとなります。



「研究企画会議」

4名の学術参与の方々



石井 紫郎 氏
日本学士院会員
東京大学名誉教授(日本法制史)



坂野 仁 氏
東京大学大学院理学系研究科
教授(分子生物学)



政池 明 氏
京都大学名誉教授
(素粒子物理学)



松沢 哲郎 氏
京都大学霊長類研究所教授・所長
(動物心理学・霊長類学)





会議風景

「研究推進会議」

9名の外部の研究推進会議委員の方々



大竹 文雄氏
大阪大学社会経済研究所教授
(労働経済学)



唐牛 宏氏
東京大学数物連携宇宙研究機構特任教授 (宇宙物理学)



川那部 浩哉氏
前琵琶湖博物館長/京都大学名誉教授(群集生態学・動物社会学)



九後 太一氏
京都大学基礎物理学研究所教授
(素粒子論)



広田 襄氏
京都大学名誉教授 (物理化学)



堀田 凱樹氏
東京大学名誉教授 (生物物理学)

ご欠席

岸本 美緒氏
お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科教授 (中国史)

千田 稔氏
奈良県立図書館館長/国際日本文化研究センター名誉教授 (歴史地理学)

村松 岐夫氏
京都大学名誉教授 (政治学)



報告

「高等研カンファレンス」・「高等研レクチャー」

高等研カンファレンス・ 高等研レクチャーWebサイトを開設

12月開催の高等研カンファレンス・高等研レクチャーの開催概要につきまして、専用Webサイト (<http://www.kuba.co.jp/iias2011/>) を開設しました。

同サイトは、高等研カンファレンスと高等研レクチャー共通のトップページから、それぞれのサイトにアクセスできる構成となっています。

高等研カンファレンスへの参加は、招待講演者の他、ポスター発表への公募者等に限定されますが、その公募要領についても掲載しています。

高等研レクチャーは、学生や若手研究者、一般市民の方々に広く公開するものですので、どなたでもご参加いただけます。Webサイトに掲載の申し込み方法をご覧ください、是非、お申込み下さい。



共通のトップページの画面写真



レクチャーのポスター

高等研カンファレンス・高等研レクチャーに関する最新情報は、上記のWebサイトで随時紹介いたしますので、是非、ご覧ください。



高等研研究成果報告書

No1005 「グローバリゼーションと市民社会」を刊行

紹介



- ・研究代表者：仁科 一彦 明治学院大学経済学部・教授
- ・書籍版：本文頁数：126頁
- ・価格：2,400円(税込)
- ・研究年度：2006～2009年度
- ・ISBNコード：978-4-906671-78-6

注：お問い合わせ及び申し込みは、(財)国際高等研究所事務局・学術出版担当まで

TEL: 0774-73-4000 FAX: 0774-73-4005 E-mail: book@iias.or.jp <http://www.iias.or.jp/academic/report.html>

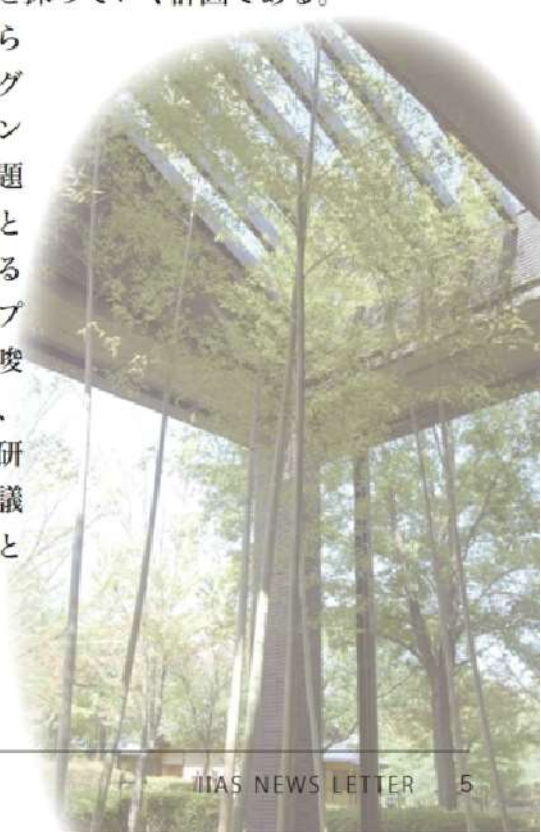
(本書「はじめに」抜粋)

いわゆるグローバリゼーションの進展によって、文化や人々の価値観をはじめとする社会生活のさまざまな側面が影響を受け、変貌することは否定できない。本プロジェクトの目的は「グローバリゼーションと市民社会」のテーマのもとに、市民社会に生じると考えられる変化を検討することである。それらの変化は本質的に多様であるから、経済学や政治学等の単一の研究領域にのみに基づいた検討では不十分であると思われる。欧米を中心にして急激に増加してきた先行研究においても、検討課題について広範な合意が成立しているとは言えず、検討のアプローチや方法論が確立しているわけではない。したがって、本プロジェクトでは、グローバリゼーションに関わる問題の所在を、複数の研究領域にもとづいて明らかにすることから始めなくてはならない。

さらに、多様な事象を複数のアプローチから検討することが意味を持つためには、単に事象を羅列するのではなく、論理的な分析の方向性を示すことが必要である。たとえば、はたしてグローバル・スタンダード(Global Standards)

と呼べるような制度や習慣は存在するのか、グローバリゼーションの一層の進展が世界をそのような方向に修練させるのか、それは望ましいと評価できるのか、等の議論を積み重ねていくことも考えられる。最も基本的な制度である民主主義や資本主義も。こうした問いから外れるものではないであろう。そのような可能性も含めて、研究の方向を探っていく計画である。

プロジェクトから期待する成果は、グローバリゼーションに関する広範な問題意識を喚起すること、それらに対する考察や分析のアプローチについて示唆を提供したうえで、可能であれば、諸研究分野を統合した議論の方向を示すことである。





高等研選書

S25「能と京劇」を刊行

紹介

2010年5月22日(土曜日)開催の高等研公開講演会『能と京劇～日本と中国の演劇～(講師・金文京教授)』(京都銀行協賛)の講演内容を収録したものを著者が読み物として修正加筆等を行い、高等研選書として刊行したものです。

能や歌舞伎は一般に思われているような日本独自のものではなく、その特色の少なくとも一部は中国の古典劇と共通し、またその起源において中国からの影響が考えられます。日中の演劇(歌舞伎と京劇等)の比較を通して、多くの共通性と独自性を分かりやすく解説しています。興味深い内容ですので是非ご覧ください。



金文京氏

(本書・おわりにからの抜粋)

日中の文化観の相違と演劇 — おわりに

どこの国でも文化は多くの層をなしています。大ざっぱに言えば基層の文化(大衆文化)と上層の文化(エリート文化)、あるいは都市の文化と農村(山村や漁村も含むものとし)の文化があります。そして上層の都市文化はたいてい基層の農村文化から発展したものです。日本をはじめ多くの国では、これら基層から上層にいたるさまざまな文化の層が、階層差、空間差をとめないながらも、ゆるやかにつながり共存しています。しかし中国ではこの両者の間に大きな隔たりがあり、上層文化、都市文化は自分の淵源である基層文化、農村文化をしばしば否定的に見なし、はなはだしい場合は弾圧さえするのです。

それはなぜかという、中国はとにかく広い国ですから、基層の文化は地域ごとに多様です。その多様な基層文化から最大公約数的に抽出されたものが、すなわち上層文化です。した

がって上層の文化はきわめて人工的な文化ということになります。文化は人間が創るものだから、人工的文化というのはおかしい言い方ですが、申し上げたい意味は、人間の生活の中から自然に生み出された文化と、それを練り上げた抽象度の高い文化があるということです。どこの国の文化にもこの両者がありますが、中国はその両者の間の距離がほかの国よりも大きいということです。(中略)

日本は古代から中国の文化を熱心に吸収してきました。しかし日本が学んだ中国の文化はおもに文字に書かれた上層文化です。日本は中国文化を輸入したが、日本の文化の本質はどれも中国とは違うようだという議論がありますが、これは日本文化と中国の上層文化を比較したため、そういう議論になるので、中国の基層文化と比較すれば、案外共通性が多いということになると思います。日中の演劇の共通性を考えることは、そのような両国の文化の枠組の違いを考えることにもつながるのではないかと思います。



- ・著者: 金文京
京都大学人文科学研究所教授
- ・書籍版: 縦書き 本文頁数: 93頁
- ・価格: 1,000円(税込)
- ・ISBNコード: 978-4-906671-70-0
- ・Cコード: C0239

注: お問い合わせ及び申し込みは、(財)国際高等研究所事務局・学術出版担当まで
TEL: 0774-73-4000 FAX: 0774-73-4005 E-mail: book@iias.or.jp
<http://www.iias.or.jp/academic/report.html>



英語版Webサイトへのアイコン

英語版 Web サイトとプロフィール 英語版 Web サイトと プロフィールをリリース

日本語版は、2009年10月にそれまでの簡易版Webサイトを新たに再構築。研究者や関係諸団体の皆様から高等研の研究活動や財団の状況が大変分かりやすくなったと好評をいただいていた。その結果、月間アクセスは、旧サイトに比べて約5倍の約1万件と大幅に向上し、情報発信のポータル機能の初期整備ができました。

一方、高等研の研究活動がグローバル化するなか、12月には国際的に著名な科学研究者を迎えて開催する「高等研レクチャー」や「高等研カンファレンス」の2大イベントの実施など、外国向けのコミュニケーションの強化が課題の一つでした。このイベント実行責任者を担われる志村副所長の強力なサポートにより「英語版Webサイト」がこのほど完成しリリースしました。

このサイトは「RESEARCH」を重点的に記載し「About IIAS」、「CONTACT US」のシンプルな構成です。「成長するWebサイト」を目指し順次コンテンツの拡充を図っていく計画です。



日本語版 Web サイトのトップページ・<http://www.iias.or.jp/>

英語版 Web サイトとプロフィール

併せて高等研の理念や組織体制、研究活動などを紹介した「IIAS Profile 2011」(英語版・パンフレット)も発行しました。

これからも研究者や諸団体の皆様にお役に立つ情報発信に努めていきますのでご支援をよろしくお願いいたします。

なお高等研Web等の広報活動に関してのお問い合わせは、(財)国際高等研究所事務局まで (TEL: 0774-73-4000 FAX: 0774-73-4005 <http://www.iias.or.jp/>)



英語版プロフィール

英語版 Web サイトのトップページ
<http://www.iias.or.jp/en/>



研究活動実績 (8月1日～10月31日)

報告

研究プロジェクト	開催日	研究代表者	参加者数
意識は分子生物学でどこまで解明できるか?	8月5日(金)	山森 哲雄	4
交渉学の可能性—新しい世界の関係構築と紛争の予防のために	8月26日(金)～27日(土)	松岡 博	23
宗教が文化と社会に及ぼす生命力についての研究—禅をケーススタディとして—	9月2日(金)～3日(土)	天野 文雄	28
第19回コンピューショナル・マテリアルズ・デザイン(CMD)ワークショップ 於:大阪大学	9月5日(月)～9日(金)	赤井 久純	75
新技術振興渡辺記念会 科学技術調査研究助成事業 「製造業における知的資産の評価と開示方法に関する調査研究」作業部会 於:東京	9月15日(木)	岩田 一明	5
21世紀における文化としての設計科学と生産科学	9月16日(金)	岩田 一明	5
研究成果の取りまとめ会合「近代精神と古典解釈:伝統の崩壊と再創造」	9月17日(土)	手島 勲矢	5
ケアを基盤とする社会保障システムの新たな構築	10月1日(土)	西村 健一郎	11
2011年度第2回研究企画会議	10月5日(水)	尾池 和夫	8
2011年度第2回研究推進会議	10月5日(水)	志村 令郎	6
ジオ多様性研究会 於:東京	10月7日(金)～8日(土)	尾池 和夫	24
諸科学の共通言語としての数学の発掘と数理科学への展開	10月14日(金)～15日(土)	高橋 陽一郎	8
心の起源(幹事会)	10月15日(土)	松沢 哲郎	8
心の起源	10月15日(土)	松沢 哲郎	24
新技術振興渡辺記念会 科学技術調査研究助成事業 「製造業における知的資産の評価と開示方法に関する調査研究」	10月20日(木)	岩田 一明	10
単分子エレクトロニクス現状認識と近未来実現へ向けての中核体制構築	10月21日(金)～22日(土)	夢田 博一	14
フォーラム「複雑系情報の社会への発信システム」(ワークショップ・海洋研究開発機構共催)	10月22日(土)～23日(日)	尾池 和夫	14



研究活動予定 (11月1日～2012年1月31日)

カレンダー

開催予定日	研究プロジェクト	研究代表者
11月4日(金)～5日(土)	アジアデザイン・エンサイクロペディアの構築	藤田 治彦
11月11日(金)～12日(土)	メタマテリアルの開発と応用	石原 照也
11月18日(金)～19日(土)	交渉学の可能性—新しい世界の関係構築と紛争の予防のために	松岡 博
11月25日(金)～26日(土)	21世紀における文化としての設計科学と生産科学	岩田 一明
11月26日(土)	ジェンダーからみた家族の将来	姫岡 とし子
12月2日(金)～4日(日)	受容から創造性へ—近現代日本文学におけるスタンダードの場合	ジュリーブロック
12月14日(水)～16日(金)	宇宙における生命の総合的考察とその研究戦略	海部 宣男
12月16日(金)～17日(土)	宗教が文化と社会に及ぼす生命力についての研究—禅をケーススタディとして—	天野 文雄
12月16日(金)～17日(土)	法と倫理のコラボレーション—活気ある社会への規範形成—	服部 高宏
1月5日(木)～7日(土)	諸科学の共通言語としての数学の発掘と数理科学への展開	高橋 陽一郎
1月28日(土)	心の起源	松沢 哲郎

開催予定日	高等研レクチャー・高等研カンファレンス
12月5日(月)	高等研レクチャー2011 “神経科学の最前線—脳から心へ—”
12月6日(火)～9日(金)	IIAS Research Conference 2011 on “Frontiers in Neuroscience: From Brain to Mind”



高等研就業カレンダー (11月～1月)

カレンダー

11	日	月	火	水	木	金	土	12	日	月	火	水	木	金	土	1	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4	5						1	2	3		1	2	3	4	5	6	7
	6	7	8	9	10	11	12		4	5	6	7	8	9	10		8	9	10	11	12	13	14
	13	14	15	16	17	18	19		11	12	13	14	15	16	17		15	16	17	18	19	20	21
	20	21	22	23	24	25	26		18	19	20	21	22	23	24		22	23	24	25	26	27	28
	27	28	29	30					25	26	27	28	29	30	31		29	30	31				